

救急隊が来ない! そんなときは…

心肺蘇生法

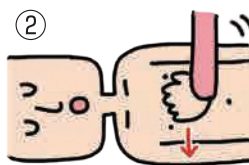
①呼吸を見る

胸とお腹の動きを見て「普段どおりの呼吸」をしているか10秒以内で確認します。呼吸がないか、普段どおりではない場合（死戦期呼吸：しゃくりあげるように途切れ途切れの呼吸）は、心停止と判断してください。

また、「普段どおりの呼吸」かどうか分からない場合も、胸骨圧迫を開始してください。

②胸骨圧迫30回

③人工呼吸2回



(胸骨=胸の真ん中)



人工呼吸を行うことができれば省略可。

②と③を救急隊に引き継ぐまで繰り返します。心肺蘇生は救急車が到着するまで続けます。周囲に複数の人がいる場合は、交代で行ってください。

AEDの使い方



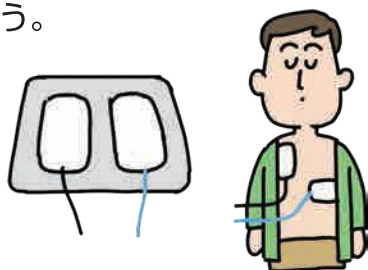
①電源を入れる

ふたを開けると、自動的に電源が入るタイプのAEDもあります。



②パッドを貼る

パッドを貼る場所は、パッドに図で表示されているので、図のとおり傷病者に貼り付けましょう。



貼り付けるときは、次の点を確認しましょう

皮膚が濡れていないか

→濡れていたら、乾いた布などでふき取ってください。

貼り薬などが貼られていないか

→貼られていれば、はがしてください。薬剤が残っていたらふき取ってください。

心臓ペースメーカーなどが埋め込まれていないか

→胸に硬い「こぶ」のような出っ張りがあればそこを避けて貼り付けてください。

③コネクターを指定された場所に差し込む

AEDが心電図を解析し、電気ショックが必要な場合は、自動的に充電します。



④放電ボタンを押す

充電が完了すると、音声メッセージで次の行動を指示します。「放電してください」などのメッセージが流れたら放電ボタンを押しましょう。このとき、必ず自分と周りの人は傷病者から離れ、触れないようにしましょう。電気ショック実施後は、直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開してください。



Q 「ショックは不要です。」という音声メッセージが流れたら?

AEDはショックが必要かどうか自動的に判断します。必要ない場合は「ショックは不要です」という音声メッセージが流れます。その場合も、直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開してください。